

II 修士課程 教務關係事項

Master's Course

1. 履修案内 Registration of Class Subjects

医歯科学専攻(修士課程)の修了要件は、「2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、大学院の行う学位論文の審査及び最終試験に合格すること」となっています。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるとされています。

履修する授業科目は、下記「授業科目一覧」のとおりです。別添の「医歯科学専攻授業時間割」中の空き時間には、各配属先教室で、指導教授による、実験・演習・実習等の研究指導がありますので、早めに各配属先教室に連絡をとり、確認しておいてください。講義番号321001から321011については、別添のシラバスを参照してください。

一般コース 授業科目一覧

講義番号	授業科目	配当年次	備 考	単位数		
				必修	選択 必修	選択
321001	医歯科学概論	1		2		
321002	生命倫理学	1		1		
321003	人体構造学	1			[医] 2	
321004	口腔構造機能学	1			[歯] 2	
321005	人体生理学	1		2		
321006	生化学	1		2		
321007	病理病態学	1		2		
321008	総合薬理学	1		2		
321009	生体材料学	1		2		
321010	社会医歯科学	1		2		
321011	臨床医歯科学概論	1		2		
321012	医科学演習	1	受入指導教授による研究指導を単位化する科目		[医] 4	
321013	医科学実習	2	受入指導教授による研究指導を単位化する科目		[医] 4	
321014	歯科学演習	1	受入指導教授による研究指導を単位化する科目		[歯] 4	
321015	歯科学実習	2	受入指導教授による研究指導を単位化する科目		[歯] 4	
321016	人体解剖学実習	1		1		
321017	分子医科学総論	1	受入指導教授: (分子腫瘍学), 加藤, (細胞化学), 大橋, 白神, 豊岡			2
321018	生体防御医学総論	1	受入指導教授: 鶴殿, 松下, 山田, 塚原			2
321019	再生医療学総論	1	受入指導教授: (細胞生物学), 中尾, 藤原, 伊藤, (呼吸器・乳腺内分泌外科学), 尾崎			2
321020	細胞組織工学総論	1	受入指導教授: 松井, 大内, 大塚(愛), 成瀬			2
321021	臨床治験学総論	1	受入指導教授: (血液・腫瘍・呼吸器内科学), 那須, 千堂			2
321022	医療情報学総論	1	受入指導教授: 大塚(文), 荻野, 土居, 浜田			2
321023	脳神経科学総論	1	受入指導教授: 浅沼, 竹居, 阿部, (組織機能修復学), 伊達, 山田			2
321024	病態機構学総論	1	受入指導教授: 吉野, 西堀, 岩月, (産科婦人科学), 松川, 西崎, 和田, 金澤			2
321025	口腔機能再建学総論	1	受入指導教授: 窪木, 松尾, 松本, 吉山, (歯科薬理学), 皆木, 飯田, 宮脇			2
321026	口腔病態学総論	1	受入指導教授: 高柴, (口腔形態学), 佐々木, 長塚, 大原			2
321027	口腔健康発育学総論	1	受入指導教授: 久保田, (口腔機能解剖学), 森田, 仲野, 上岡			2
修得すべき単位数				18	10	2

○履修届について

指導教授ごとに履修科目が決定しますので、履修届の手続きは必要ありません。

・選択必修科目について

修士(医科学)の学位取得を希望する医学系学生は[医]の科目を履修します。

修士(歯科学)の学位取得を希望する歯学系学生は[歯]の科目を履修します。

・選択科目(○○○○総論 2単位)について

指導教授ごとに科目が設定されていますので、受入指導教授が開講する科目を履修します。

■その他の履修コース

○分子イメージング技術修得コース

本コースの目的は、昨今、医療分野において注目される分子イメージング技術を習得することであり、具体的には光イメージング（蛍光，発光），磁気共鳴イメージング（MRI）及び核医学イメージング（PET，SPECT など）などの研究，医療における実際の取扱，小型加速器の取扱やこれを用いた放射性医薬品製造，標識技術を学ぶことです。

このカリキュラムに用いる各種の最先端機器は，おかやまメディカルイノベーションセンターOMIC や連携大学院である理化学研究所神戸研究所分子イメージング科学研究センターの装置を利用し，講師も岡山大学と理化学研究所の分子イメージングに関する研究者が担当します。

このコースを選択することで製薬企業や医療機関での分子イメージング技術者としての基礎技術を習得でき，修了後，様々な活躍の場が広がるコースです。

※分子イメージング技術修得コースを希望する場合は，指導教授から，次のコーディネーターに選択可能かどうかをあらかじめ相談ください。

「分子イメージング科学実習」については，承認を受けたコーディネーターのもとで実施することになります。

中性子医療研究センター 松浦栄次教授 … OMIC を中心に実施

○公衆衛生学コース（MPH コース）

本コースの目的は，超高齢社会の到来を踏まえて，地域の医療機関，地方自治体等と連携し，リサーチマインドとすぐれた臨床能力を有する総合診療医並びに医療・保健・福祉従事者を育成することです。欧米では，代表的な大学に公衆衛生大学院が設けられていますが，本コースは，公衆衛生大学院の国際標準である疫学，生物統計学，環境保健学，社会科学・行動科学方法論及び保健医療管理学の必須5分野を含む22科目を有しており，修了後には「修士（公衆衛生学）」（Master of Public Health）の学位授与を想定しています。

現在各地域においては，地域包括ケアの確立が大きな課題となっていますが，本コース修了者は，医療・保健・福祉従事者，行政マン，研究者等として，地域の医療，保健，福祉に貢献することをめざしています。

講義番号	授業科目	配当年次	単位数		
			必修	選択必修	選択
325001	公衆衛生学・医学研究概論	1・2	2		
325002	生物統計学基礎論	1・2	2		
325003	疫学基礎論	1・2	2		
325004	医療政策論	1・2	2		
325005	医療管理・経済論	1・2	2		
325006	医療倫理・臨床倫理特論	1・2	2		
325007	社会疫学特論	1・2	2		
325008	産業保健論	1・2	2		
325009	環境保健論	1・2	2		
325010	健康危機管理論	1・2	2		
325011	疫学分析・演習	1・2	2		
325012	質的研究論	1・2			2
325013	総合診療学特論	1・2			2
325014	地域医療演習	1・2			4
325015	疫学統計パッケージ演習	1・2			2
325016	臨床研究論	2			2
325017	旅行医学論	1・2			2
325018	補完統合医療論	1・2			2
325019	高齢者医療特論	1・2			2
325020	地域包括ケア特論	1・2			2
325021	地域包括ケア演習 I	1・2			1
325022	地域包括ケア演習 II	1・2			1
修得すべき単位数			22	0	8

2. 成績評価基準等 Grades Criteria

○ 成績確認について Confirmation of Grades

各自がインターネットにより成績の確認をすることになります。確認の方法は、「学務システムの手引き」<http://kym.adm.okayama-u.ac.jp/inform/tebiki/menu02.html> を参照してください。

また、上記の確認方法で単位修得状況以外に健康診断の結果や就職情報も閲覧できるようになっていますので、利用してください。

To confirm the grades, go to the website above. Please refer to 「学務システムの手引き」 for instructions. Moreover, you can check the result for health check-ups or carrier information on the website as well.

○ 大学院医歯薬学総合研究科における成績評価方法について

The Grade Assessment Method of the Master's Degree

(1) 成績評価 Unites/ or Grades

成績評価は、100点を満点とし、60点以上を「合格」、59点以下を「不合格」とする。評価の評語は、以下のとおりとする。ただし、授業科目によっては、その評価を「修了」又は「不可」とすることができる。

100 points is perfect. 60points or more are deemed "Pass" and 59 and below is "Failure".

Marks are shown below; however, depending on class subjects, provided some marks might be described as "Complete" or "Failure". (At least 60 points are required)

A+	90点以上	90 points or more
A	80～89点	80-89 points
B	70～79点	70-79 points
C	60～69点	60-69 points
F	59点以下	Less than 59

(2) 成績評価の基準 Standard of Grade Appraisal

1. 本専攻の授業科目については、形成的評価¹⁾または総括的評価²⁾を行なう。いずれの評価方法を用いる場合でも、授業参加が三分の二に満たない者は評価の対象としない。
2. 研究指導を単位化した授業科目については、形成的評価¹⁾を行なう。研究活動（実験や研究セミナー等）への出席、研究についての発表・討議等への能動的な参加、研究室運営（検体や共同利用機器の管理等）への協力、研究の成果等を、受入指導教授が総合的に評価する。これらの評価に基づき、60点以上を単位認定基準とする。

[注釈]

- 1) 形成的評価：一連の授業を進めていく中で、学習目標の達成度を調べて学習活動の修正を勧めるための評価をいう。上述の評価項目の他、授業ごとの質疑応答と学生へのフィードバックなどがこれに該当する。
- 2) 総括的評価：一連の授業が終了した後に、全体を通して学習目標の達成度を評価する評価方法をいう。試験などがこれに該当する。

Grading Criteria

1. Formative assessment¹⁾ and/or summative assessment²⁾ will be conducted for each subject in this Master's course. Whichever the assessment is used, the student whose class attendance is less than

two-thirds are not subject to assessment.

2. Formative assessment¹⁾ will be conducted for the subjects in which student's research activities are credited. All the research-related activities; e.g. participation to research activities (experiments and research seminars), active attitude in research presentations and discussions, cooperation to laboratory management (management of specimens and commonly used equipment), and research achievements; will be evaluated comprehensively by supervising professors.

Based on these evaluations, more than 60 percent shall be credit criteria.

[Remarks]

- 1) Formative assessment is a range of assessment procedures conducted by lecturers during the learning process to modify teaching and learning activities to improve student attainment. In addition to the above-mentioned evaluation items, question-and-answer for each lesson and feedback to students are commonly used.
- 2) Summative assessment refers to the assessment of participants where the focus is on the outcome of an education program. Written examinations are commonly used.

○ 「成績評価等に対する問合せ」の対応について Inquiries Regarding Grades and Other Matters

- (1) 学生は、成績評価等に対する疑問などがある場合には、授業担当教員又は教務担当係に対して成績評価の方法及び内容等について問い合わせることができる。

Students can ask questions to their instructors or the Administration Office with regards to the methods and content of grade assessment.

- (2) 授業担当教員等から十分な回答が得られない場合には、学務委員会に申し出ることができる。

In the event they do not get satisfactory answers, regarding the scores, from the instructor in charge of a class, students may bring it to the attention of the Education Board.

- (3) 学務委員会は、上記の申し出があった場合は、調整等を行うものとする。

The Education Board shall coordinate with the parties concerned when the above request is made.

3. 研究指導について Research Guidance

毎年度当初、全大学院生（休学者、留学者を除く）に対して、指導教授から1年間の研究指導計画が明示されることになっています。これは、学生の研究計画に基づき、指導教授が作成する研究指導計画書によります。

毎年度4月に各学生ごとの研究指導計画書（下記様式）のファイルを大学院担当から各教育研究分野に送付しますので、各自1年間の「研究計画」を記入し指導教授に提出してください。指導教授は、研究指導計画等を記入し学生に明示しますので、確認してください。

Every academic year, all graduate students (excluding students who are on a temporary leave from school and those studying abroad) are supposed to receive a research guidance plan for that year from their supervisors.

Every April, Administrative Office will send "Research Guidance Plan" to each department. Fill in the form and submit to your supervisor. Your supervisor will write your research guidance plan based on your study.

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯科学専攻 研究指導計画書

Research Guidance Plan

【 年 月 日作成】

学生番号 Student #			フリガナ 学生氏名 Name		
教育研究分野 Department					
課程 Course	修 士 Master's	年次 Grade		入学年度 Entrance Year	平成 年度
出身大学 University you have graduated	学部	大学 University Graduated	学部 Faculty	学科 (年 月 卒業) Department Y M	
研究題目 Research Title					
指導教員 Supervisor	氏名(職名) Name (Title)	H29または 30年度 FD 参加	氏名(職名) Name (Title)	H29または 30年度 FD 参加	
		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
研 究 指 導 計 画	研究計画 (学会発表, 論文作成等を含む) : 学生が記入 Research Plan (Include thesis, published paper, report, conferences, etc) : By Students				
	研究指導計画 : 指導教員が記入 Research Plan by Supervisor				

4. 学位論文について Thesis

学位論文提出についての、学位申請要領（提出時期及び申請書類等の詳細）はホームページに掲載します。

Please go to the website for instruction of degree dissertation. (Submission schedule, or formats, etc)

○学位論文（修士論文）の評価基準 Completion Requirements for the Master's Degree

自ら推進した課題研究を論理的にまとめたものであり、多角的な評価に耐えうるものであること。

The research paper must be summarized logically and it should be capable of multilateral evaluation.

〈学位論文の要件〉 Requirements of Thesis

学位論文は、Thesis を原則とするが、査読制度のある欧文誌も可能である。

また、Thesis は単著とする。欧文誌は共著も可とするが、その場合は筆頭著者であることとする。

In principle, to apply for a degree dissertation, students must submit thesis. However, students can submit a peer-review in a distinguished journal in the English language as well.

Moreover, the thesis should be single-authored paper. In case of co-authored paper in a distinguished journal in the English language, the applicants must be the first author.

○修了認定の基準 Requirements for the Master's Degree

- ・ 修士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得していること
- ・ 研究指導を受けていること
- ・ 学位論文（修士論文）の審査及び最終試験に合格していること

課程修了の基準は、上記の修了に係る要件を満たすものとする。

ただし、在学期間に関しては、「岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯科学専攻早期修了に関する申合せ事項」により承認された者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

- A student must be enrolled in a Master's course for 2 years or more and must have attained 30 credits or more.
- He/she must have been under the research guidance
- He/she must have passed a dissertation review and the final examination.

To complete the course, the above requirements must be fulfilled. However, with regards to the duration of enrollment, more than one year of enrollment in the course is sufficient for those students who are admitted according to the "Agreement on the special course term of early completion at Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University (Medical and Dental Science)."

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯科学専攻早期修了に関する申合せ事項

Agreement on the special course term of early completion at Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University (Medical and Dental Science)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科規程第27条第1項に基づく岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯科学専攻早期修了に係る優れた研究業績、申請資格及び審査は、次のとおりとする。

Based on Article 27-1 of regulations of Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University, degree applications and review should be processed as described below when "a student who has achieved an outstanding research performance will be adequate to apply for the special course term of early completion at Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University (Medical and Dental Science) is fulfilled.

1 在学期間 Duration of Study

修業見込年数が1年又は1年半の者とする。

Course term of one year or one and half year is applicable.

2 「優れた研究業績を上げた者」として認められる者

"A student who has achieved an outstanding research performance"

査読制度のある雑誌に掲載された論文（掲載予定を含む）の筆頭又は共著者である等優れた業績を上げる見込みであることを指導教授が認める者で、引き続き本学大学院医歯薬学総合研究科博士課程に進学する者

Either the first or co-authored of published or expected to be published paper of peer-review in a distinguished journal in the English language and the supervisor recognizes the high value of achievement. Moreover, the student has to continue of education in Doctor's course at Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University.

3 早期修了申請資格の審査 Review of the Eligibility for an Early Completion Degree Application

早期修了を希望する場合は、次の書類により学務委員会の議を経て専攻会議において申請資格の審査を受けなければならない。

- ① 研究計画及び研究概要
- ② 単位修得状況確認表
- ③ 指導教授の推薦書
- ④ その他（研究業績一覧等）

なお、審査に合格した場合は、2年次配当科目（医科学実習又は歯科学実習 4単位）を履修することができるものとする。

When a student fulfilling the aforementioned requirements intends to apply for an early completion, he/she should submit the following documents and undergo review by the Education Board on his/her eligibility for the degree application.

- (1) Research guidance plan and Research outline
- (2) Academic transcripts
- (3) letter of recommendation by the supervisor
- (4) Others (e.g. curriculum vitae, record of academic performance, research planning sheet)

Futhermore, those students who pass the review of the eligibility can take subjects that are available

in the second year. (Practicals in Medical Science or Dental Sciences: 4 credits)

4 申請時期 Application Period

早期修了資格審査の申請時期は、学位授与日より次の各月とする。

The period for degree applications for early completion are shown below.

学位授与日 Commencement Day	申請期限 Application months
3月25日 March 25	8月末日 End of August
9月30日 September 30	1月末日 End of January

※学位記及び修了証書授与式について

学位記及び修了証書授与式は9月30日及び3月25日に挙行するものとする。ただし、当該日が土曜日の場合は1日繰り上げて挙行するものとし、当該日が日曜日の場合は、2日繰り上げて挙行するものとする。

※ Commencement Ceremony

Commencement Ceremony will be held on September 30 and March 25.

However, the ceremony forward the day before if that day falls on Saturday ;
two days before if that day falls on Sunday.

5 学位申請及び審査 Application and Defense

審査に合格した場合の学位申請は、医歯科学専攻学位申請要領による。

Applicants must follow the instruction of degree dissertation for applications of dissertation after pass the review of the eligibility.

5. 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 修士課程における授業科目の履修方法等に関する取り扱いについて Rules for Registration of Class Subjects (Japanese Language Only)

第1条 この取り扱いは、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科規程第15条第2項の規定に基づき、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科修士課程（以下「修士課程」という。）における授業科目の履修方法等必要な事項について定めるものとする。

第2条 修士課程に、次のとおり履修コースをおくものとする。

- 一 一般コース
- 二 分子イメージング技術修得コース
- 三 公衆衛生学コース

2 修士課程の大学院生は、入学時に研究科長に履修コースの届け出を行ったのち、別表に定めるとおり履修しなければならない。

3 履修コースを届け出た大学院生は、他の履修コースの科目を修了要件外の単位として履修することができるものとする。

第3条 修士課程の大学院生は、届出後に履修コースの変更を希望する場合は、研究科長に変更願を提出しなければならない。なお、履修コースの変更の前後において同一の授業科目が履修要件となっている場合は、既修得単位の引き継ぎ及び出席回数の引き継ぎができるものとする。

附 則

1. この取り扱いは、平成28年4月1日から施行する。
2. 平成27年度以前の入学者については、改正後の取り扱いにかかわらず、なお従前の例による。

別表 修士課程履修コース（平成28年度以降入学者）

(1) 一般コース

授 業 科 目	単 位 数		
	必 修	選 択 必 修	選 択
医歯科学概論	2		
生命倫理学	1		
人体構造学		2	
口腔構造機能学		2	
人体生理学	2		
生化学	2		
病理病態学	2		
総合薬理学	2		
生体材料学	2		
社会医歯科学	2		
臨床医歯科学概論	2		
医科学演習		4	
医科学実習		4	
歯科学演習		4	
歯科学実習		4	
人体解剖学実習	1		
分子医科学総論			2
生体防御医学総論			2
再生医療学総論			2
細胞組織工学総論			2
臨床治験学総論			2
医療情報学総論			2
脳神経科学総論			2
病態機構学総論			2
口腔機能再建学総論			2
口腔病態学総論			2
口腔健康発育学総論			2
修得すべき単位	18	10	2

必修科目18単位を履修し、選択科目から1科目2単位以上を選択履修するほか、選択必修科目から3科目10単位以上を選択すること。ただし、修士（医科学）の学位を希望する者は人体構造学、医科学演習及び医科学実習を、修士（歯科学）の学位を希望するものは口腔構造機能学、歯科学演習及び歯科学実習を履修すること。

(2) 分子イメージング技術修得コース

授 業 科 目	単 位 数		
	必 修	選 択 必 修	選 択
医歯科学概論	2		
生命倫理学	1		
人体構造学		2	
口腔構造機能学		2	
人体生理学	2		
生化学	2		
病理病態学	2		
総合薬理学	2		
生体材料学	2		
社会医歯科学	2		
医科学演習		4	
歯科学演習		4	
分子イメージング科学概論	2		
分子イメージング科学実習	4		
人体解剖学実習	1		
分子医科学総論			2
生体防御医学総論			2
再生医療学総論			2
細胞組織工学総論			2
臨床治験学総論			2
医療情報学総論			2
脳神経科学総論			2
病態機構学総論			2
口腔機能再建学総論			2
口腔病態学総論			2
口腔健康発育学総論			2
修得すべき単位	22	6	2

必修科目22単位を履修し、選択科目から1科目2単位以上を選択履修するほか、選択必修科目から2科目6単位以上を選択すること。ただし、修士（医科学）の学位を希望する者は人体構造学及び医科学演習を、修士（歯科学）の学位を希望するものは口腔構造機能学及び歯科学演習を履修すること。

(3) 公衆衛生学コース

授 業 科 目	単 位 数	
	必 修	選 択
公衆衛生学・医学研究概論	2	
生物統計学基礎論	2	
疫学基礎論	2	
医療政策論	2	
医療管理・経済論	2	
医療倫理・臨床倫理特論	2	
社会疫学特論	2	
産業保健論	2	
環境保健論	2	
健康危機管理論	2	
疫学分析・演習	2	
質的研究論		2
総合診療学特論		2
地域医療演習		4
疫学統計パッケージ演習		2
臨床研究論		2
旅行医学論		2
補完統合医療論		2
高齢者医療特論		2
地域包括ケア特論		2
地域包括ケア演習 I		1
地域包括ケア演習 II		1
修得すべき単位	22	8

必修科目 22 単位を履修し、選択科目から 8 単位以上を選択履修すること。

6. 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（修士課程）の専攻と学位に付記する専攻分野に関する取り扱いについて
Rules of Master's Degree (Japanese Language Only)

岡山大学学位規則第24条及び岡山大学大学院医歯薬学総合研究科規程第29条の規定に関連して、修士の学位に付記する専攻分野については、次のとおり取り扱うものとする。

1. 「修士課程の専攻」と「修士の学位に付記する専攻分野の名称」の関係は、次のとおりとする。

専攻 \ 学位に付記する専攻分野の名称	(医科学)	(公衆衛生学)	(歯科学)	(学術)
医歯科学専攻	○	○	○	○

2. 「修士の学位に付記する専攻分野の名称」と「研究内容」の関係は、次のとおりとする。

- (1) (医科学) は、主として医科学の分野で行われた研究に付与する。
 (2) (歯科学) は、主として歯科学の分野で行われた研究に付与する。
 (3) (学術) は、主として医科学・歯科学の分野で行われた複合的・学際的な視点の研究に付与する。

3. 「所属する教育研究分野」と「修士の学位に付記する専攻分野の名称」の関係は、次のとおりとする。

所属する教育研究分野 \ 学位に付記する専攻分野	(医科学)	(公衆衛生学)	(歯科学)	(学術)
医学系の教育研究分野に所属し、医科学を中心として医歯薬学に関する教育・研究指導を受けた者	○	○	—	○
歯学系の教育研究分野に所属し、歯科学を中心として医歯薬学に関する教育・研究指導を受けた者	—	—	○	○

【※医学系は医学系会議構成員を、歯学系は歯学系会議構成員を表す。】

4. 「修士の学位に付記する専攻分野の名称」と「学長から付託された教授会」の関係は、次のとおりとする。

学位に付記する専攻分野の名称	学長から付託された教授会
(医科学) (歯科学) (公衆衛生学) (学術)	教授会 (医歯科学専攻会議)

5. 「所属する教育研究分野」での研究内容と「修士の学位に付記する専攻分野の名称」の関係が上記3.の表によりがたい場合は、研究内容が判明した時点で学務委員会の審議をうけるものとする。承認後に4.の「修士の学位に付記する専攻分野の名称」に対応する「学長から付託された教授会」に学位申請ができるものとする。

附 則

1. この取り扱いは、平成26年4月1日から施行する。
 2. 平成25年度以前の入学者については、改正後の取り扱いにかかわらず、なお従前の例による。